

【講義 04】失語症とコミュニケーション支援

科目	テキスト	時間
失語症とコミュニケーション支援	PowerPoint スライド/mp4 動画	40 分

研修のねらい

失語症についての基本的なイメージを持ち、具体的な対応の要点を理解する。

研修内容

失語症とは何か。
適切な対応方法

番号	スライド	注意事項
23	事例：翌日の医師の診察について 施設職員が説明した場面 明日、8月10日（火）は午後1時から医師の診察があります。受診の前に検尿と血液検査をしますので2階の処置室に12時半までにいらしてください。尿を提出して採血が終わったら今度は1階の診察室に行ってください。やっていただくことがたくさんありますので、昼食は11時半からになります。	講義をする方は かなり早口で読み上げてください。ここで受講生に理解してもらうように読む必要はありません。
24	理解面を補う ○ ゆっくり、はっきり話す × 早口や不明瞭な話し方 ○ 短く、わかりやすい言葉で話す × 長々話すことや難しい熟語 悪い例： 「あ・し・た・し・ん・さ・つ・が・・・」 「あ～し～た～し～ん～さ～つ～が～・・・」 良い例： 「明日、診察が、あります。1時からです。・・・」	講義をする方は 1音ずつ区切って読み上げてください。 講義をする方は 1音を引き延ばして読み上げてください。 講義する方は 文節ごとに間を取って読み上げてください。